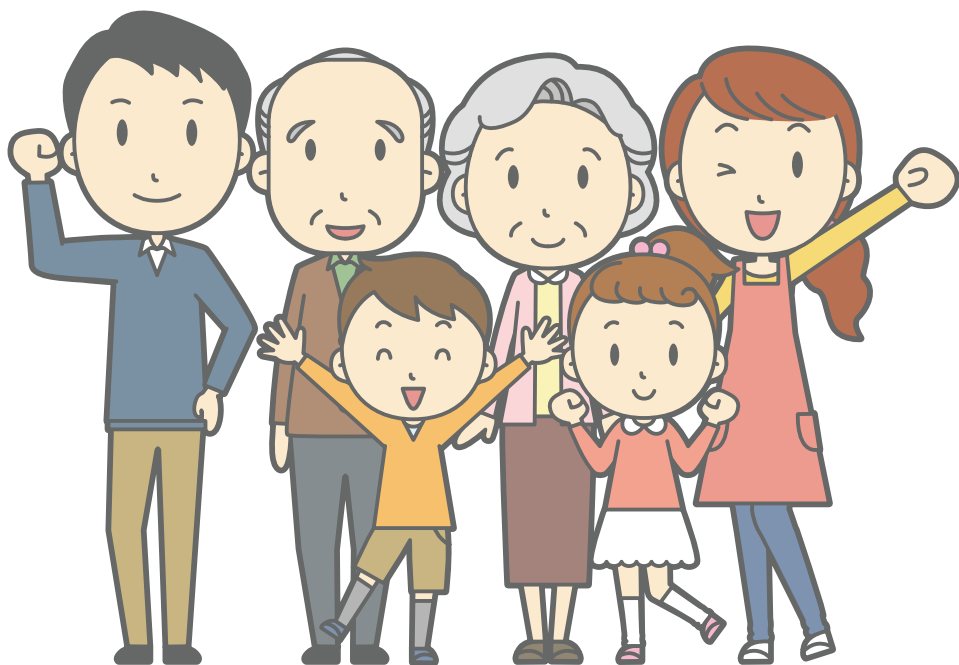


外来で化学療法を 受けられる患者の皆様へ



日本赤十字社

地域医療支援病院

松山赤十字病院

Matsuyama Red Cross Hospital

目次

1 外来治療当日に持参して頂くもの …… 2

2 外来治療当日の流れ …… 2

3 化学療法センターからのお願いについて …… 4

4 治療中の注意点について …… 5

5 料金計算・支払いまでの流れについて …… 5

6 治療後の注意点について …… 6

7 連絡した方がよい症状について …… 9

8 連絡先について …… 9

9 その他のご質問・お問い合わせについて …… 10

患者さん、ご家族の皆様へ

これから外来で化学療法を受けられる患者さんへ、治療当日の流れや注意点について説明します。お聞きした内容については、医療スタッフで情報共有しサポートさせていただきます。

1 外来治療当日に持参して頂くもの

- (1) 診察券・予約票
- (2) お持ちでしたら、お薬手帳をご持参ください。

2 外来治療当日の流れ

(1) 再診手続きについて

来院後、1階正面玄関にある再来受付機で再診の受付を行ってください。

(2) 採血について

採血がある方は、まず、採血室で採血を受けてください。
採血後、各エリアの受付に受付票を渡してください。

(3) 医師の診察について

- 採血結果が出ましたら、医師の診察を開始します。
採血結果と患者さんの体調を確認し、医師が化学療法を行うかどうかを決定します。
自宅での症状の変化やお薬等の希望がある時は、必ず診察時に医師にご相談ください。
延期の場合は、次回の予約を取り、帰宅していただきます。
- 診察後、治療が決定したら、各エリアの受付で受付票が入ったファイルをお渡ししますので、化学療法センターへお越しください。

(4) 化学療法センターでの治療について

- センター内の受付でファイルをスタッフにお渡しください。
番号札をお渡ししますので、ロビーでお待ちください。
- トイレを済ませておいてください。
- 準備ができ次第、番号でお呼びし、ベッドへご案内します。
- 混み合っている時は、お待たせする場合があります。また、患者さんの状況によってご案内する順番が前後する場合がありますのでご了承ください。
- 採血をしていない腕から点滴を行いますので、看護師に伝えてください。当センターでは看護師が血管確保を行います。
* リンパ浮腫予防等で点滴箇所に制限のある方は、看護師にお申し出ください。
ポートのある方は、ポートを使用します。

3 化学療法センターからのお願いについて

- (1) 入室時には、アルコールでの手指消毒と、マスクの着用をお願いします。
- (2) 治療中ご家族の付き添いは可能ですが、その際には周りの方のご迷惑とならないように話し声にご配慮ください。ご希望の方は事前に看護師にお申し出ください。
- (3) 携帯電話は、メールの機能はご使用可能ですが、通話はなるべくお控えください。
入室時、マナーモードの設定をお願いします。
- (4) 飲食は可能です。ただし、においの強いものの持ち込みはご遠慮ください。
- (5) 治療開始前に内服がある場合は、飲料水（水・お茶）をご持参ください。
- (6) 各ベッドにテレビを設置しており、無料でご覧いただけます。備え付けのスピーカーで聞こえにくい場合はイヤホンをご持参ください。



4 治療中の注意点について

- (1) 点滴治療中、血管外にお薬が漏れると、皮膚の炎症が強くなる可能性があります。点滴の入っている腕は安静に保ちましょう。
「痛み」や「腫れ」がある場合や、トイレに行きたくなった場合はすぐにナースコールでお知らせください。
- (2) 気分が悪くなったり、かゆみ等の症状が出た場合は薬剤アレルギーを疑いますので我慢せず、すぐにナースコールでお知らせください。
- (3) センター内にトイレがあります。

病気や副作用に関するパンフレットも多数ご用意しております。
ご自由にご覧ください。

5 料金計算・支払いまでの流れについて

点滴後の会計手続きは各エリアからご案内があります。

6 治療後の注意点について

抗がん剤は、治療日から2日間程度、体液や排泄物（尿や便、嘔吐物など）にその成分が残りますので、下記の対策をお取りいただきますようお願いいたします。

◆排尿や排便について

- 尿が周囲に飛び散らないように、便座に腰掛けて排尿してください。
- 排尿・排便後は、（洋式の場合は便座のふたを閉め）2回水を流してください。
- 最後に石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。

◆洗濯について

- ご家族の洗濯物と一緒に洗っていただいて構いません。ただし、尿や便、嘔吐物などで汚れた洗濯物は他の洗濯物とは分けて、普段ご使用の洗剤を用いて2度洗濯してください。汗は通常の場合では対策はいりませんが、大量の汗をかいている場合は、上記の対策をお取りいただくほうが良いでしょう。汚れがひどい場合には廃棄することをおすすめします。

◆食事について

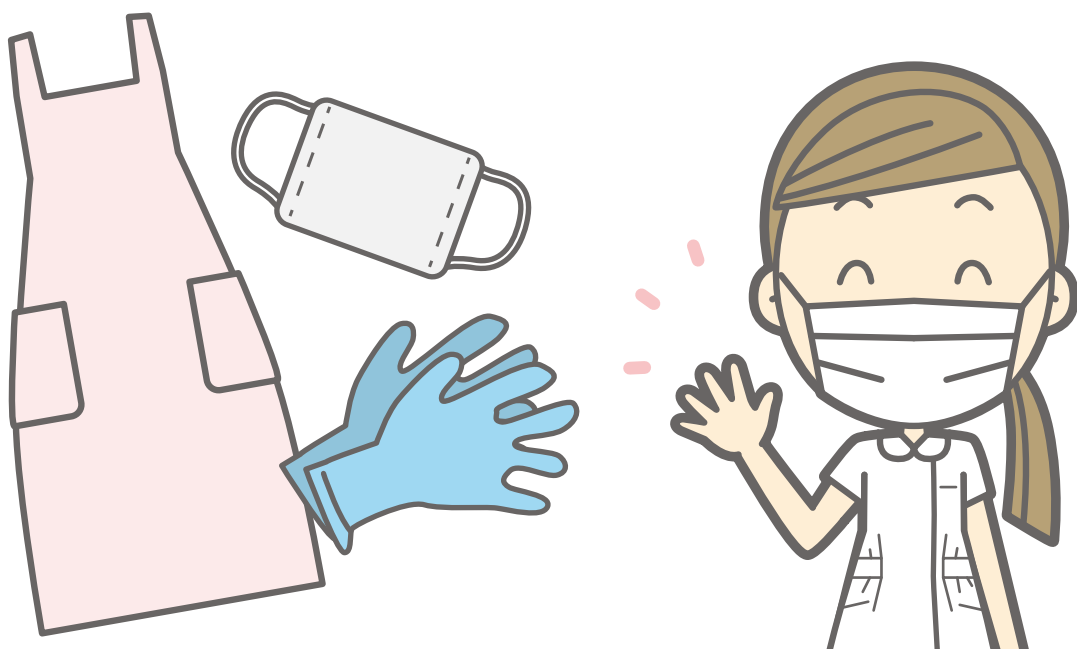
- 食器の使用や洗浄については、特に分ける必要はありません。ただし、乳幼児のお子さんに対して、口移しや同じ箸を使って食べさせることは避けましょう。

◆抗がん剤の内服薬を服用されている方

- 薬の保管場所として以下は避けましょう。
①子供・ペットの近く ②高温・多湿 ③直射日光
- 内服するときに錠剤をつぶしたり、カプセルをあけたり、口の中で噛み砕いたりしないようにしましょう。
- 内服後は手を洗いましょう。

これらは、「家族に対する思いやりや周囲に対するエチケット」を目的としたものです。あまり心配なさらずに、ご質問や不明な点がありましたら、看護師または薬剤師にお声をかけてください。

わたしたち医療スタッフも、抗がん剤を取り扱う際にはエプロンや手袋、マスクなどを身に付けさせていただきます。



オストメイトのかたへ

◆排泄物の処理

- ストーマ用品や、オムツなどの処理は手袋を着用してください。排泄物ができる限り飛び散らないように行い、水は2回流します。洋式の場合は、トイレの便座のふたを閉めてから流すようにしましょう。水面にティッシュペーパーを浮かせてその上に廃棄するなど、飛び散りにくい工夫をしましょう。
- 二重にしたビニール袋に入れ、密閉して一般ごみとして廃棄してください。その後石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。
- 排泄物が皮膚についたら、直ちに水道水で十分に洗い流し、さらに石鹸で洗いましょう。

◆ストーマ装具の交換

- ご本人が行う場合は手袋は不要です。介護者が行う場合にはプラスチック手袋を着用し、実施後は石鹸と流水で十分に洗いましょう。
- 排泄物との接触を最小限にするため、ストーマパウチは使い捨てにしましょう。
- 投与後2日間までは対策を要するため、抗がん剤投与の前日もしくは投与当日の朝に新しい装具へ交換するように計画しましょう。可能なら、3日目以降に次の装具交換のタイミングが来ることが望ましいでしょう。
- 二品系装具の場合、袋がしっかりと嵌合されているか確認しましょう。

◆ストーマトラブル

- 装具から便や尿の漏れが続く場合は、皮膚トラブルを起こし悪化することもあります。早めにストーマ外来に相談しましょう。

◆入浴

- 装具を外して入浴もしくはシャワーを行う場合は、同居者の中で最後に入り、その後十分に浴室内を洗い流しましょう。

7 連絡した方がよい症状について

以下の症状がある場合は、至急ご連絡ください。

(1) 38度以上の発熱が続く場合・・・

- 発熱時の薬を事前に処方されていない。
- 事前に処方された発熱時の薬を使用後、3日間経っても解熱しない。
- 感染が疑われる症状（寒気、咳、痰、のどの痛み）がある。

(2) 吐き気が続く場合・・・

- 吐き気が続いて、食事や水分が摂取できない。
- 嘔吐が頻回にある。

(3) 下痢が続く場合・・・

- 発熱や激しい腹痛を伴う下痢がある。
- 下痢止めを使用しても効果がない。
- 下痢が続いて、食事や水分が摂取できない。



※その他、気になる症状があれば、まずお電話ください。

8 連絡先について

《外来化学療法に関するお問い合わせ等》

松山赤十字病院 089-924-1111（代表）

月曜日～金曜日 8:30～17:10

かかりつけの診療科のエリアへ繋いでもらってください。

月曜日～金曜日 17:10～翌8:30

土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

日本赤十字創立記念日（5月1日）

看護当直室へ繋いでもらってください。

※お名前・患者番号・かかりつけの診療科・治療中であることをお伝えいただき、症状をおっしゃってください。

□がん相談支援センター（がん患者さん及びそのご家族）

対応時間： 9：00～16：00（祝祭日除く月～金曜日）

予約先：089-926-9630（直通）

相談場所：がん相談支援センター

相談料：無料

*予約なしでも相談可能ですが、予約の方を優先させていただきます。

治療後、さまざまな症状が現れることがあります。何か症状が現れた時は、いつ・どのような症状であったかをメモしておき、次回の受診時に相談できるようにしておきましょう。

詳しいことについては、「化学療法ハンドブック」をご覧ください。わからないことなどがありましたら、医療スタッフにご相談ください。

化学療法センターのご案内

2階フロア



1階フロア



地域医療支援病院
松山赤十字病院
 Matsuyama Red Cross Hospital

〒790-8524
 愛媛県松山市文京町1番地
 TEL 089-924-1111(代表)
 FAX 089-922-6892